

## おめでとうございます!表彰集会を行いました!

2月20日(金)に表彰集会を行いました。たくさんのお友達と先生が表彰されました。毎回様々な分野での活躍に対する表彰となりますが、今回は、ジュニア防災検定、茨城県統計グラフコンクール、手をつなぐ子らの作品展、いばらきものづくり教育フェア、みんなにすすめたい1冊の本推進事業県教育長賞、校内50冊読破賞、学年全員50冊読破賞、市教育論文優秀賞でした。延べ人数で214人でした。ひとりひとりの頑張りが結果となって表れました。おめでとうございます。特に、読書関係の表彰では、年間50冊読破を目標に全員が取り組み、2月末現在で99%の達成率となりました。100%まであと少しです。期待しています。(写真:表彰集会から)

沼里小の子供たちは本当によく頑張っています。その頑張りを少しお手伝いさせていただいている私たち教職員も日々自分自身の資質向上のために取り組んでいます。今回、井原雄太郎先生が、教育研究の成果としてまとめた論文が、市教育論文で優秀賞を受賞しました。井原先生が研究していたのは、学級経営という分野で、研究主題は「教師と児童、児童相互のよりよい信頼関係を育む学級経営の在り方～確かな児童理解と児童の自主的な活動の充実を通して～」という、どうすればみんなが楽しく充実した学級生活(学校生活)を送れるか、子供たちや教職員の



笑顔に直結する内容でした。教員ですが身近な大人が真剣に学び、評価される姿を子供たちに見せることは、子供たちにとって何よりの刺激となります。

沼里小は、これからも、子供たちと先生が共に学び、共に成長する学校であり続けたいと思います。

## もう一つの表彰式 「心の表彰状」を贈りました!



表彰集会の前日、地域の方から一本の電話がありました。内容は「沼里小の子が、道路に落ちていたゴミの袋を誰に頼まれるわけでもなく、車や歩行者が通れるようにどけてくれました。その姿を見て、心がとても温かくなりました。」という電話でした。これこそ「自ら考え、行動する姿」だと思いました。誰かが見ているからやるのではなく、誰も見ていなくても「通る人が困らないように」という優しさで行動できたことは、素晴らしいことです。

沼里小の宝物は、みなさんひとりひとりの温かい心です。



校内では落ち着いて生活できている子供たちですが、校外ではどうですか? 交通ルールなど守れていますか? 自転車に乗る時のヘルメット着用、横断時の確認など自分の命を守る行動がいつもとれるといいです。家庭でも確認して下さい。